

平成28年度 全国学力・学習状況調査における

北九州市立 高生 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語, 数学)

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
<ul style="list-style-type: none">・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

(2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査(国語A・B, 数学A・B)の結果

本年度の結果	国語A		国語B		数学A		数学B	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	24.3	74	5.8	64	21.2	59	6.1	41
全国	25.0	76	6.0	67	22.4	62	6.6	44

(2) 本校の学力調査結果の分析

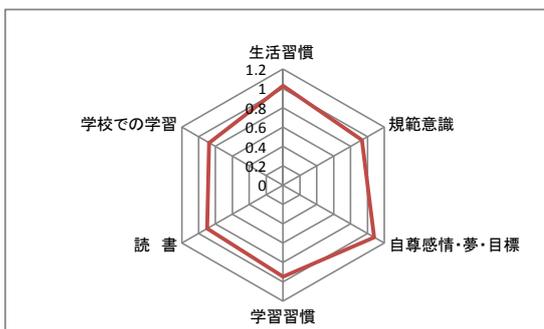
国語A	全体的な傾向や特徴など	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、全国平均と同等であるが、特に「書くこと」について平均を下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	漢字を正しく書く。	
	努力が必要な問題	文字の大きさ、配列に注意して書く。	

国語B	全体的な傾向や特徴など	「書くこと」「読むこと」について、全国平均を下回っており、無回答も多い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	特になし	
	努力が必要な問題	目的に応じて必要な情報を読み取る。その根拠を明確にして自分の考えを書く。	

数学A	全体的な傾向や特徴など	「表現する」「説明する」について、全国平均を下回っている	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	計算する	
	努力が必要な問題	「関数」「図形」の性質や特徴を理解する。	

数学B	全体的な傾向や特徴など	「表現する」「説明する」について全国平均を下回っている	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	特になし	
	努力が必要な問題	文章より必要な状況や関係を読み取り、説明することができる。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣は、全国平均よりも上まわっている。 ・昨年度課題があった自尊感情・夢・目標も全国平均を上まわっており、昨年度の課題を克服できたと考えられる。 ・学習時間に課題がある。「3時間以上勉強している」生徒は多いが、逆に「30分より少ない」、「全くしない」と回答した生徒も多い。 ・「振り返り」や「話し合い活動」を取り入れた授業が全国平均を下回っており、授業改善に取り組む必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ◎各教科と各学年が連携して、学力向上のための特設時間を設定して実施する ・朝自習で基礎的・基本的な演習を繰り返し行い、確認テストを行う。 ・「折々のことば」の視写に取り組む。 ・「めあて」と「振り返り」のある授業を全職員共通理解のもと実践する。 ・職員室前廊下に自主学習スペースを設け、生徒がいつでも教科担任に質問に来られるようにする。

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ◎授業規律の確立 ・小中で連携して作成した「高中生校区授業規律スタンダード」を教室掲示して、全般的に指導する。 ◎家庭学習の習慣化 ・「SSノート」(自学ノート)を毎日最低1ページ使用して自主学習に取り組み、提出させ担任が点検し、アドバイスをおこなう。
